

---

# 人の見栄

あきらちゃん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

人の見栄

### 【Nコード】

N4503I

### 【作者名】

あきらちらん

### 【あらすじ】

人の壁の続編です。

ここでは見栄を張りたいが張れ無い事を書いています。

## 体力的なもの

私は、見栄に苦しんだ、ひとりである。

何の為の見栄なのか？

誰にでも、人より偉い、生活が善いと想われない気持ちは有る、だが、

その力が十分に無い者が虚勢を張り、又は、無理して、散財してまで何で虚勢を張る必要があるのか？『武士は食わねど、高楊枝』、『腹が減っては戦は出来ぬ』なんとも便利な言葉で有る、その場所と立場により、言いたい事を言いたいほうだい。特に、私は小さな時から、体が弱く、それが為に、『子供のくせに肩が凝ったとは？』、『男の子くせに、女の腐った様な事をすつが』と謂われ続けて来た。確かに、見た目も普通で、何一つ悪い様な所は見当たらなかった。しかし、実際に肩こりは有るし、走らせば、どんなに、速く走っても、人より速くは走れ無かった。小学生から、高校生まで、秋の運動会はいつもびり、このような事をしなければならいものが何で、いつも、競争で賞品貰える者の様に、運動会が好きされる筈が無いし、ましてや、いつもの体育の時は嫌な目に遭う。それにその同時の先生の数は100人は下らない。『運動しろ』とは言うが誰もその異常性に目を向ける先生は誰一人として居なかった。

もちろん、生徒の一生を滅茶苦茶にしても、それが当たり前と思う先生達だから無理も無い。

いずれにしても、その異常性の原因が判明して治るのが50歳過ぎるから私の人生もたいした事は無い。

事、走る事と力が無い者が生きることがは苦しい。私は男です。万年虐められ子ですかね？

話しは帰りますが、要するに、見栄を張りたくても張れ無かったのが実状です。

### PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4503i/>

---

人の見栄

2010年10月21日20時10分発行